

持続可能な「健康な食事」と 「食料システム」の構築

～行動変容を促す栄養リテラシーの向上を目指して～

2021

12.7 Tue ▶ 8 Wed

主催 農林水産省

共催 FAO駐日連絡事務所
WFP

東京栄養サミット2021

東京栄養サミット2021は、世界が栄養不良という世界的な課題に取り組む方法を変える歴史的な機会を提供します。農林水産省では、東京栄養サミット2021のテーマの中で、特に「食：健康的で持続可能な食料システムの構築」に貢献し、ひいては、日本の農業・食品産業等の持続可能な発展に繋がるよう、本サミット開催に合わせて「サイドイベント」を開催し、日本の取組を世界に発信します。

世界では、減少していた飢餓人口が再び増加に転じ、新型コロナ感染症が、その問題を深刻化させています。また、多くの国が低栄養と過栄養が同時に存在する新たな栄養課題“栄養不良の二重負荷”に直面しています。

世界の栄養課題は多様であり、国・地域ごとにそれぞれ適切な取組が講じられるべきですが、どの国・地域においてもバランスの取れた食生活を推進することは重要です。そのためには、日本の栄養改善に関するこれまでの経験、そして新しい知見が大きなヒントになるはずです。

農林水産省では、これらの経験を共有し、世界の栄養改善に貢献できるよう、さまざまなステークホルダーと世界の栄養課題解決に向けた日本の貢献策を議論するサイドイベントを開催します。

7 SESSIONS

01

12.7(火)
13:30-15:00

国連食料システムサミットを経た
持続可能な食料システムへの変革の潮流

国連食料システムサミットの総括と
「みどりの食料システム戦略」を踏まえた
我が国が目指す食料システムの姿

03

12.7(火)
17:30-19:00

栄養不良の二重負荷への対策と
支援の枠組み

グローバルコミュニティとの
円卓会議

05

12.8(水)
10:30-12:00

栄養課題解決に向けた
日本の知見と提言

「個人の状況に応じた栄養改善」の
実現に向けた食文化・食習慣への
アプローチと企業の貢献

07

12.8(水)
15:30-17:00

日本の食産業から
世界へのメッセージ

栄養改善と持続可能な
発展の両立のために

02

12.7(火)
15:30-17:00

食を通じた栄養課題の
持続的解決に向けて

「たべものはローカル、
知恵はグローバルに」

04

12.8(水)
8:30-10:00

誰一人取り残さないための
食育の推進

食行動変容を促す
ポピュレーションアプローチ

06

12.8(水)
13:30-15:00

栄養課題解決に向けた
社会システム構築の必要性

「日本の栄養改善」を未来につなぐ、
イノベーションで実現する
栄養改善の新しい社会システム

同時
開催

12.7(火) 13:30-19:00 12.8(水) 8:30-17:00
企業・団体の栄養改善の取組の発表

YouTubeでライブ配信！ 視聴はこちらから▶

(日英同時通訳)

農水省 ライブ 🔍

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/seisaku/n4g2021/live.html>

